

“街道テクテク・日光道中” No.5 (2019-12-15)

参加者：碓貴臣、後藤幸子、佐熊範和、染谷ミドリ、政芳一、黛政男、山岸任、木村芳一

行程：信号（小湊（北））→幸手 10.4km

北春日部駅→小湊（北）→境界標識（春日部市と杉戸町の堺、北緯 36 度線地球儀モニュメント）→堤根立場跡→九品寺（「左日光」、「右江戸」の道標を兼ねた庚申塔）→馬頭院（馬頭観世音菩薩像、板石塔婆）→八幡神社（文政の手水石）→神明神社→杉戸高札場→近津神社（見返り狛犬）→本陣跡地前（杉戸宿）→渡辺勘左衛門邸（立派な家屋と蔵）→巖島神社→恭儉舎跡（天明時代の学舎、敷地内の稲荷社は下高野村の鎮守）→日光道中・日光御成道合流点→神明神社→幸手（幸手宿）→幸手駅近くの居酒屋「日本海庄や」で反省会

・比較的風が強い中、北春日部駅を出発し、信号（小湊（北））の場所に戻って日光道中を歩き出しました。この日は、日光へ行く別ルートである日光御成道と合流する幸手まで歩き、日本橋からの総距離は 49.9km になりました。日光御成道は本郷追分、岩槻城を通る道で、歴代の将軍が徳川家康の霊廟に社参するときに使用されていました。

・杉戸宿の宝生院あたりに歴史を感じさせる古い家屋（かなり朽ち果てている）や豪壮な家屋と蔵を持つ渡辺勘左衛門邸が残っていました。また数多くの古い家があったようですが現在ではその跡が残っているだけでした。

・下高野村の恭儉舎は、江戸時代の心学者大島有隣が創建した学舎であり、ここで村民に神道、仏教、儒教を基にした教えが教授され、教育に力が入れられていたとのこと。その建物が今でも残り、集会場として使用されています。

・今回の居酒屋にはカラオケセットが設けられており、人数は少なかったのですがいつにも増して盛り上がりました。

（木村芳一）

